

特別研究委員会名称	情報・コミュニケーション特別研究委員会
新規、継続の種別	継続
委員長氏名、所属	須田 裕之 (筑波技術大学)
公募の有無	あり
研究目的と 主な研究事業	<p>福祉のまちづくりにおいては、ハード的な整備とソフト的な「しくみ」が相俟って障害者支援環境として役割を担うことができるものと考えられる。最近では、情報・コミュニケーション環境の整備の大切さについての認識が向上し、これまで情報支援、情報保障技術について検討がなされてきている。</p> <p>まちづくりにおいては、個々の技術だけでなく、総合的な連携性、整合性が必要となる。これまで、本情報・コミュニケーション特別研究委員会では、まちづくりにおいて、情報・コミュニケーション環境をどのように整備すべきかに関して、様々な当事者の声を収集し、また、障害当事者団体等を対象としたニーズ調査、事例収集等を行ってきた。これらをさらに進めるとともに、より具体的な社会生活場面における環境整備について検討を進める。特に、屋外における情報・コミュニケーション環境に焦点をあて、非常時（防災）、日常生活、観光、スポーツ等に関連した場면을想定する、</p> <p>研究事業として、セミナー、勉強会を開催するとともに、総合的な「しくみ」を議論するため、各障害当事者、団体へのヒアリング、アンケートを実施し、ニーズの異なる当事者間の合意形成の在り方についても議論を進め、成果をまとめると共に、情報・コミュニケーション環境整備に関する理解・啓発活動を展開する。その上で、移動等円滑化基準等ガイドライン策定、改定等に資することを目指す。</p>
その他特記事項	<p>視覚障害、聴覚障害、発達障害、肢体不自由等様々な障害特性を専門とするメンバーの参加を募る。また、情報・コミュニケーション環境の整備に取り組んでくださる団体・事業者等についても積極的な参加を呼びかけたい。</p>